

# J AIPA

---

## Express

**Vol.41**  
January 2016

### CONTENTS

ご挨拶

コラム

・ICTビジネスの流れを読む(3)

レポート

・ISP&クラウド事業者の集い in 天草

事務局通信

会員紹介

行事一覧

役員一覧

会員一覧

全国プロバイダー一覧

**People,people**

新年おめでとうございます。

近年の明るいニュースの1つに2020年の東京オリンピック・パラリンピック（以下、東京オリンピック）の開催決定がありました。日本は、米国の8回やフランスの5回に次ぎ世界で3番目の4回目の開催（夏2回・冬2回）となります。前東京オリンピックの1964年には戦後日本の復興期において首都高速やモノレール、東海道新幹線の交通インフラ網を始め、観光・宿泊・サービス業など様々な経済効果が生まれました。2020年においてもこれまで同様に様々な効果が齎されることと思いますが、過去3回の開催と異なり日本の総人口の減少が始まっている点に着目しお話を進めたいと思います。

日本の総人口は2008年12月の1億2,809万人をピークに微減傾向にあり、政府調査では2048年に1億人を割り込む推測がなされております。また、高齢化も進み2072年には国民の2.5人に1人が65歳以上の高齢者になると言われています。この状況下において今回の東京オリンピックでは、これまで通りの社会インフラの整備やそれに伴う雇用創出等以外の効果に否が応でも期待が高まります。2020年の東京オリンピックを契機とした街づくりが今後の世界の高齢化におけるモデル都市となるような結果になればと願っています。

このような日本を取り巻く本質的な課題に対しては増田元総務相を座長とする「日本創成会議」や一昨年発足された安倍総理を本部長とする「まち・ひと・しごと創生本部」の中で大きなテーマとして提言、対策協議がされております。その大きな柱としては首都圏（東京一極）人口集中を是正、地域におけるワークライフバランスを確保し、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくという動きが活性化してきております。地域への首都圏からの移住・定住推進ということを考えますと、健康寿命・平均寿命ともに上昇している現在では、アクティブシニア層に元気なうちに移住していただくというような日本版CCRC（Continuing Care Retirement Community）構想なども打ち出されております。

このような高齢化に関する一連の問題に対しては私自身もグループ会社を通じて認知症高齢者の徘徊についてICTを活用した新しい解決に向けたチャレンジをしております。

人口4万人、1万5千世帯の大分県臼杵市は、既に3人に1人が65歳以上という全国平均値の20年先をいく高齢化問題に地域住民の方や自治体の様々な取組が行われている地域です。この臼杵市でICTを活用し、高齢者やみまもる家族がより住みやすい街になる一助にできないかと現地の皆様と相談をしながら「徘徊検知ソリューション」の開発に取り組んでおります。これは高齢者の方にiBeacon端末を身に付けていただき、街なかにあるセンサーで把握できる行動履歴や現在の位置情報をみまもる家族や地域のサポーターの方が確認することができるというものです。2015年10月7日の共同ニュースリリース（<http://www.wirelesscity.jp/info/press/2015/10/beacon.html>）にもございますが、現在実証研究として展開しており、実際に研究を進める過程で様々な課題に直面しながら作っていくわけですが、そのひとつひとつを糧にモデルケースを構築し、全国の地域にも寄与できるものにしていきたいと考えております。

この実証研究を通じて、常に意識しながら進めていることは「地域で自立的かつ継続的に運用できる」ということであり、これには自治体をはじめ、地域通信事業者様や住民の方々の協力が必要不可欠になってきます。

このような地域でのサービスにはJAIPA会員の皆様も主体的に推進していく意義があると思っております。首都東京だけでなく、ひとつひとつの地域の活動が2020年の東京オリンピックにつながっていくことを意識して会員の皆様と日本の社会に貢献できるよう邁進していきたいと考える所存です。

新しい年が更に良い年になるよう祈念致しまして、私の挨拶とさせていただきます。本年も宜しくお願ひ申し上げます。

一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会  
常任理事 竹網 洋記



## ICTビジネスの流れを読む

### 第3回 電力小売り全面自由化とICT業界のビジネスチャンス

TVニュースやコマーシャルなどで「電力の小売り自由化」という言葉がよく使われるようになってきました。

今までは、国内の各地域にある電力会社10社（「一般電気事業者」と呼ばれていました）が、それぞれ担当するエリア内において電気を独占的に供給・販売していたものを、今後はそれ以外の企業でも電気を販売できるようになる、ということなのです。

電力業界ではこれまでも、大規模な工場やオフィスビル、デパートやホテルといった大規模商業施設、あるいは病院、大学など、高圧電力を用いるような大きな施設向けに限り、一般電気事業者以外でも小売りが認められていました。その後、段階的に電圧の低い需要家へと小売り自由化の範囲が広がられていったのです。

その最終ステージとして、2016年4月を目途に一般家庭や街の商店、小規模な工場、コンビニといった需要家を対象とする低圧・電灯領域についても、小売り事業者の参入が認められることになりました（図1）。

現在、ニュースなどで取り上げられている「電力自由化」とは、今まで段階的に推し進められてきた小売りが全面的に解禁されることを意味しているわけです。

#### ■ 電力の小売り全面自由化とは？

電力の小売り全面自由化によって、既存の電力会社10社による事実上の独占市場が開放され、一定の要件を満たしていれば、電気事業者以外の企業・団体でも来春から一般家庭に

電気を販売できるようになります。

一方、地域ごとに電力事業の範囲が限定されていた電力会社は、管轄外だった他のエリアへの事業進出が認められることとなりました。

例えば東京電力の場合、今まで自らの事業域外だった関西電力の管轄エリアに参入し、家庭向けに独自の料金メニューをひっさげて新たなビジネスを展開するようなことが可能となります。迎え撃つ側の関電も、東電の挑戦を関西エリアで受けて立つだけでなく、東電エリアに参入して新たな顧客を東電から奪取することになるでしょう。エリアを超えて電力会社が相互の市場に参入し、しのぎを削るという競争が始まろうとしています。

この状況に、太陽光や水力といった自然エネルギー系の発電事業で名乗りを挙げていた各地の新電力会社も加わり、さらには通信キャリアやネット系企業をはじめとした異業種プレーヤーも数多く小売り市場に参戦してくるでしょう。

加えて、都市ガスやLPガス事業者も電力事業への参入を宣言しています。こうして、さまざまな顔ぶれの企業が電力事業に乗り込もうとしているのです。

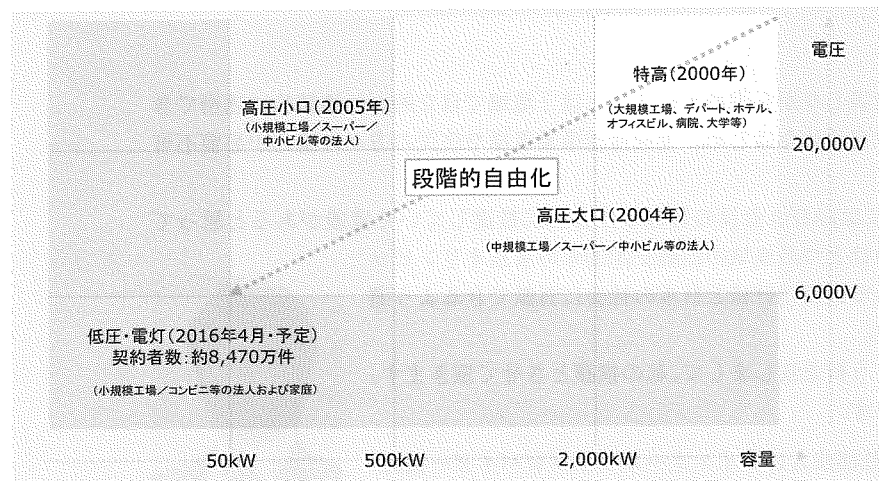
これら小売り市場の動きを眺める前に、まず電力業界の基本的な事業構造とこれまでの制度改革の流れについて、簡単に押さえておきます。電力事業は、①発電、②送配電、③小売り——の3つの大きなレイヤから成り立っています（図2）。

先に触れた通り、電気はもともと全国10社の電力会社が独占的に供給してきましたが、2000年を過ぎた頃から数度にわたって制度改革が行われてきました。その結果、①の発電に関しては自然エネルギーなどを使った「新電力」と呼ばれる事業者が参入し、競争原理が吹き込まれています。

もともと、既存電力会社の発電量や莫大な設備の規模からすれば、新電力の勢力は微々たるもので、制度的に競争状態にあるとはいえ、既存電力会社に対するプレッシャーにはなり得ていないのが実情です。

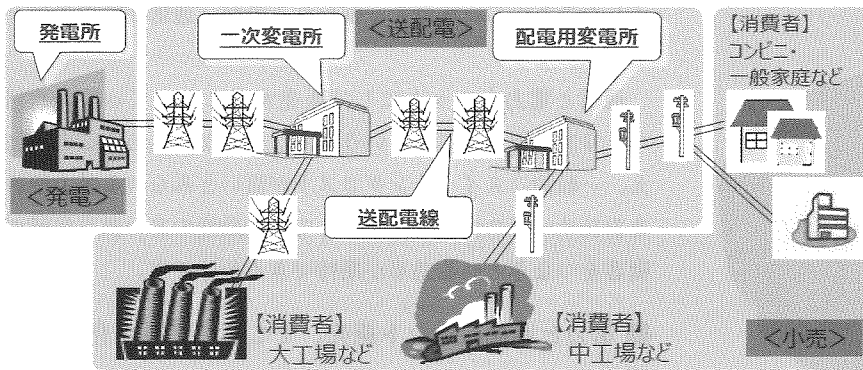
②の送配電は、発電所で作った電力を最終ユーザーに届ける部門で、簡単にいえば送電網やそれに伴う設備を運営する事業です。全国に張り巡らされた送電網

図1 電力小売りの段階的自由化



出所：各種資料をもとに情報流通ビジネス研究所作成

図2 電力供給の仕組み



出所：経済産業省・資源エネルギー庁

設備は、誰もが容易に構築して参入できるものではありません。

また、電力の安定供給に直結する重要な部分であることから、送配電については電力会社の独占状態を維持しつつ、新電力などと共同使用するための厳格なルールを設けるとともに、法的にも電力会社から独立した組織としても運営されることになっています。通信の世界に当てはめるならば、さしずめ地域通信網に近いポジションといえるかもしれません。

③の小売りは、冒頭に挙げた通り段階的な自由化が今まで行われ、その総仕上げとして来春にはユーザーを問わず全面的に実施されることとなります。

■ 安倍政権「日本再興戦略」と電力システム改革

10年前から行われてきた制度改革ですが、ここに来て政府は改革の推進をより一層加速させています。

2013年4月に閣議決定された「電力システムに関する改革方針」は、従来から続いていた電力供給の枠組みに競争原理を導入することで、電力関連産業の成長を促す政策であるとされています。そして、安部政権の掲げた「日本再興戦略」(2014年12月改定)における成長戦略の大きな柱と位置付けられました(図3)。

改革のステップは3段階あります。

まずは、既存電力会社のエリアをまたぐ送電網を強化・運用するため、広域的電力運営推進機関が2015年4月に設立されました。先に述べた②送配電部分の制度改革がこれに該当します。

そして第二段階が2016年4月の電力小売り完全自由化です。多様な新規参入事業者の積極的な誘引によって、硬直化した電力業界に競争原理を吹き込む、というのが大きな狙いです。小売り分野への参入を促進することに加え

て、既存電力会社の地域相互参入も促すなど、競争の多軸化によって、将来的には総合エネルギー企業の登場が期待されるところです。

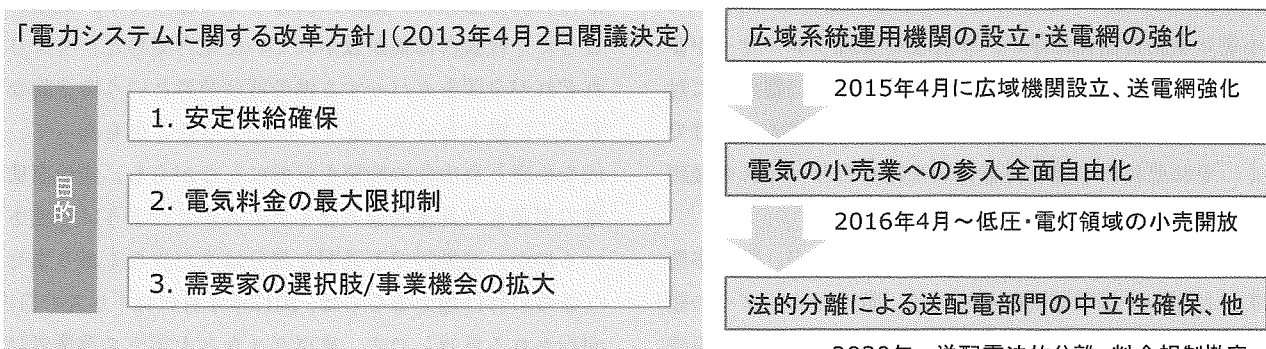
最終ゴールは2020年と目される「発送電分離」です。地域ごとにある既存電力10社を発電/送配電/小売りの3事業レイヤごとに分割、持株会社方式による経営形態に移行させるわけです。

今までの電力会社は、発電から小売りまでの各部門を1社で回していました。しかし、それぞれの部門における事業の性格やKPIはそもそも異なります。

それらを1社で運営することをやめ、コスト削減/合理化を追求させるというのが、発送電分離の大きな狙いです。ただし、ボトルネック設備となる送配電会社には、地域独占および総括原価方式が認められる一方、事業エリアでの電力供給責任が課されることとなります。

このように電力システム改革は、岩盤規制の撤廃によって従来の業界構造を再構築し、新たな枠組みの下で電力産業の成長を促すことに主眼が置かれています。国内の産業活性化はもとよりイノベーションを誘発し、電力関連産業を海外展開させることによって、さらなる成長を促すという意味も込

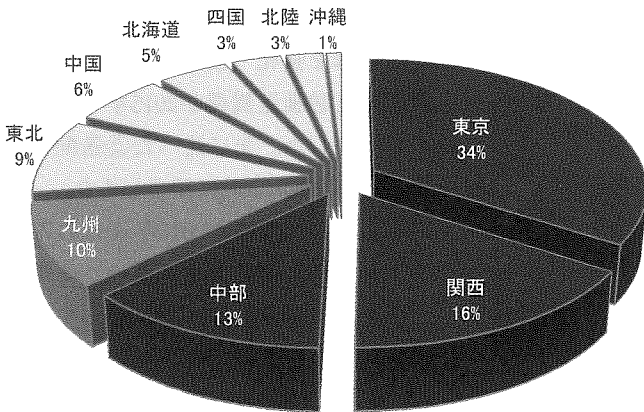
図3 「日本再興戦略」で示された改革方針とフロー



出所：経済産業省・資源エネルギー庁資料をもとに情報流通ビジネス研究所作成



図4 エリア別契約シェア



出所：経済産業省・資源エネルギー庁資料（2013年度）をもとに  
情報流通ビジネス研究所作成

められた、国家戦略的色彩の濃い政策といえるでしょう。

## ■ 電力小売り市場のマーケットサイズ

今春から小売り解禁となる低圧／電灯レベルの小口需要家や一般家庭ユーザーの契約数は、全国で約8,500万件を数えます（2014年度・資源エネルギー庁調べ）。内訳は、一般家庭が約7,800万契約、商店や小規模事業所が約700万件となっています。金額ベースの市場規模では、低圧・電灯契約を合わせて全国で約8兆円となります。

低圧・電灯ユーザーにおけるエリア別契約数の内訳を図4に示しました。全国のうち、4割弱のユーザーが東電管内である首都圏エリアに集中しています。首都圏の契約市場は約2,900万件、金額ベースでは約2.8兆円です。

首都圏以外のエリアでは、関電のカバーする関西圏が約1,360万件（約1.3兆円）、中電の管轄する中部圏が約1,060万件（約1兆円）となっています。これら東名阪の3エリアを合計すると、契約数は約5,300万件となり、全国の半数以上を占めています（金額は約5.2兆円・約64%）。

こうしたことから、これから小売り市場に参入するプレイヤーの多くは、一大市場である首都圏への参入を軸にしながら、東名阪エリアでのビジネスを計画しているとみられます。電力小売り全面自由化に伴い、多様な異業種プレイヤーが参入することが予想されます。一般家庭などの小口需要家に対して、今までになかった電力料金メニューを提案するだけでなく、それぞれの本業や得意領域を絡めたサービスを展開していくのではないのでしょうか。

異業種参入プレイヤーの最右翼と目されるのが、通信事業者です。とりわけ携帯電話キャリアは、数千万オーダーの顧客規模とその管理基盤、そして全国を広くカバーする販売チャンネルをすでに確立させています。安定的なインフラの運

用に長じている点も、電力会社に似たところがあります。そうしたことから、昨今よく言われるのが「通信と電力のセット販売」です。

通信と電力をセットにして販売することによって、通信キャリアは電力の料金という新たな収益が見込めることに加え、一般的にスイッチングコストが高いとみられる電力契約を自社サービスに組み込むことで、流動性の高い携帯電話の顧客をつなぎとめる効果が期待できるわけです。

## ■ 電力と通信のセット販売、そしてガス自由化

一方、通信事業者と手を組む電力会社の方は、既存事業エリアの内と外でセット販売に対する考え方が若干異なってきます。

今までの管轄エリア内においては、参入者を迎え撃つ側にいますので、できることなら特定の通信事業者だけでなく、全キャリアにセット販売してもらったのが最善です。従来は事実上100%シェアだったので、それ以上シェアが増えることはありません。小売り全面自由化に伴い、新規参入によって崩される顧客層を可能な限り強固なものにしておきたい、と考えるのが自然でしょう。そうしたことから、今までの管轄域内において電力会社は、自社エリアにおける既存シェアの保全を図るため、基本的に各キャリアと等距離な関係を保ちたいと考えます。

他方、今までの事業管轄域外に電力会社自らが新規参入し、他の電力会社（そのエリアの既存電力会社）から顧客を奪取したい場合はどうでしょうか。そこで携帯キャリアがセット販売してくれることは、強力な武器になるでしょう。そのケースでも、各キャリアがそれぞれ積極的にセット販売してくれるのは理想です。

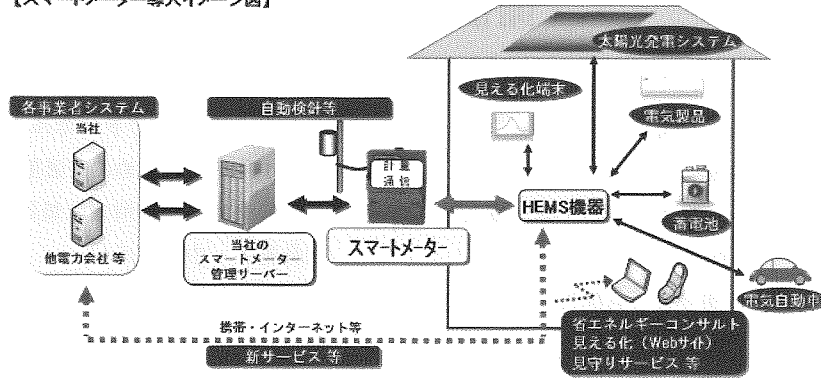
しかしキャリアの側からすれば、事情は複雑です。そのエリアの既存電力会社と組んで、セット販売することも念頭に置かなくてはなりません。域外進出する電力会社と組んで、無差別にセット販売するわけにもいかないでしょう。

電力会社の域内と域外において、通信と電力のセット販売が行われる意味は、微妙に異なってくるのです。従来、地域ごとに1社独占体制が敷かれていた電力業界と、キャリアそれぞれが全国をカバーする携帯電話業界という構造的な違いがそこに横たわっています。そのようなこともあって、制度的な小売り自由化の時期を目前にしながらも、通信事業者と電力事業者の具体的なアライアンスがどのように形成されていくのか、流動的で不透明な部分は未だ少なくありません。

さらに付け加えるならば、2017年4月には「ガスの自由化」が行われる見通しです。東京ガスなど大手ガス事業者は、すでに電力小売りビジネスへの参入を宣言し、家庭向けの具体

図5 スマートメーターのシステム概念

【スマートメーター導入イメージ図】



出所：東京電力

的な電気料金メニューを発表する動きも出てきました。

電力市場は、ガス市場より1年先行して小売り自由化されるわけで、いってみれば電力会社は1年の間ガス会社に自らのシェアを奪われる一方という展開になり、忸怩たる思いを隠せません。当然、通信キャリアもガス会社の動きを無視するわけにはいかないはず。このことも、電力会社と通信会社のアライアンスが定まりにくい要因のひとつになっていると考えられます。

とどのつまりは、一般家庭向けのエネルギー市場を巡って、さまざまな企業が多様なビジネスモデルを持ち込んで生き残りを図ろうとする、乱戦模様が大きいと予想されるようです。

### ■ スマートメーターを活用した新市場の創出

電力小売り自由化は、独占市場に競争原理を導入する点において通信自由化と似ていますが、本質的に異なる点もあります。なかでも大きいのは、市場そのものの爆発的な成長はさほど見込めないということです。電力市場において競争状態が進展しても、流通する電気そのものの量が格段に増えることは、まず起こらないでしょう。

むしろ、金額ベースでは料金値下げ競争を経て、マーケットの規模が縮小する方向にあるかもしれません。少子高齢化という時代のトレンドからしても、電気の流量が飛躍的に伸びることはあまり期待できそうにないのです。競争原理の導入による参入プレーヤーの増加とその後の成長、デジタル技術の進展、加えてインターネットという一大イノベーションを経て、トラヒックが劇的に増加した通信市場と同様の産業拡大シナリオは描きにくいでしょう。

電力小売り自由化において、電気そのものの量的拡大よりも期待されているのが、ICTによる電力周りの付加価値サー

ビス産業の成長です。特に、これからのビジネスチャンスとして注目されているのが、スマートメーターを活用した各種データサービスです(図5)。

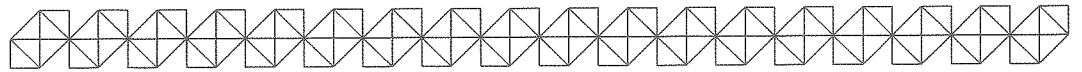
スマートメーターは、電力会社がユーザーの電力使用量を遠隔地から検針するだけでなく、そのデータを加工・分析することによって、電力以外の多様なビジネスに用いることが可能になります。例えば、電力使用状態によってユーザーが在宅しているのかどうかを確認することで、セキュリティサービスの内容を制御し、外出時にはセキュリティレベルを高めたり、場合によっては通報先を変えたりするようなこともできると考えられます。ユーザーが在宅しているか、そうでないかという情報だけでも、多くの外部サービスと連携可能なことは容易に想像できます。

家電機器など、ユーザーが使用している宅内機器の波形を読み取って、どのメーカーのどのような製品であるかといった情報を分析し、各種マーケティング情報として活用する技術も進んでいるといわれています。

当然、利用者の許諾などは必要になるでしょうが、ユーザーのプロフィールデータと紐付けることによって、スマートメーターから得られるデータはより精緻化され、多様なサービスへの応用範囲が格段に広がっていくものと思われます。まさしくこの領域は、通信キャリアやネット系企業などICT業界プレーヤーに直結するビジネスです。

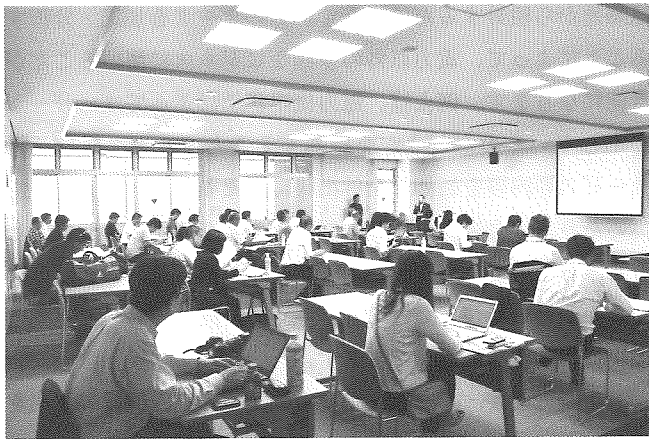
スマートメーターはM2M/IoTの世界と切り離せない、ホットな産業の核になる可能性があります。電力小売り自由化は、その引き金に過ぎないのかもしれない。

株式会社情報流通ビジネス研究所 代表取締役所長  
飯塚 周一



## ISP&クラウド事業者の集い in 天草 開催報告書

日時：2015年9月10日（木）～11日（金）  
 場所：肥後銀行 天草支店 会議室  
 主催：一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会  
 地域ISP部会、クラウド部会  
 後援：九州総合通信局、天草市、熊本日日新聞社、  
 協力：有限会社あまくさ藍ネット、AMA-Biz  
 参加人数：71名  
 プログラム委員：株式会社IMS 津田和範、  
 株式会社イプリオ 石田卓也、  
 ソネット株式会社 宮内正久、  
 クロストラスト株式会社 秋山卓司、  
 株式会社クロノス 今野仁史



プログラム：

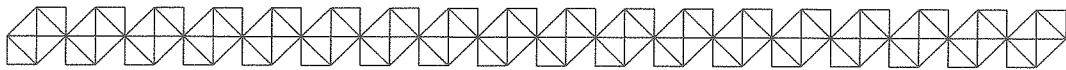
■ 9月10日（木）14:00～18:30（13:30～受付開始）

14:00～14:05 開会挨拶  
 JAIPA地域ISP部会部会長 晋山孝善氏  
 14:05～14:45 「天草の紹介」  
 （一社）天草宝島観光協会 古川雄一氏  
 14:45～15:15 「みぞかとともに…」  
 天草エアライン株式会社 客室部  
 村上茉莉子氏・山口 亜紀氏  
 15:15～15:30 休憩  
 15:30～16:00 「JAIPA部会紹介」  
 ・クラウド部会副部会長（ソネット株式会社）  
 宮内正久氏

16:00～18:30 クラウドパネル  
 16:00～16:25 『攻めのIT活用』とクラウドへの期待  
 経済産業省 商務情報政策局 情報処理振興課  
 課長補佐 中智晴氏  
 16:25～16:50 「Cloud News Asia から見た アジアの動向」  
 ZOROK株式会社（AgileCat） 鶴澤幹夫氏  
 16:50～18:30 パネルディスカッション  
 モデレータ：さくらインターネット株式会社  
 田中邦裕氏  
 パネラー：経済産業省 商務情報政策局  
 情報処理振興課 中智晴氏  
 ZOROK株式会社（AgileCat） 鶴澤幹夫氏  
 株式会社クララオンライン  
 代表取締役 家本賢太郎氏  
 株式会社フューチャースピリッツ  
 代表取締役 谷孝大氏  
 19:00～21:00 懇親会 いけす やまもと

9月11日（金）10:00～18:30（9:30～受付開始）

10:00～10:50 「光卸の関係」  
 JAIPA副会長 立石聡明氏  
 JAIPA地域ISP部会 部会長 晋山孝善氏  
 10:50～12:00 対談『無線LANのセキュリティとユーザ  
 ビリティ』  
 公衆無線LANの先駆け「にんじんネット」さんと考える。  
 株式会社 にんじんネット（日経地域情報化大賞 地域活  
 性化センター賞受賞）  
 代表取締役 藤澤千絵氏  
 JAIPA 副会長 立石聡明氏  
 12:00～12:20 「通信・放送事業者の問題解決をサポート」  
 総務省電気通信紛争処理委員会事務局  
 上席調査専門官 市川憲史氏  
 12:20～13:30 昼食  
 13:30～14:15 「電動バイクとIoTの開発」  
 ～ビッグデータ獲得へ向けて～  
 株式会社グロースンドリーム 代表取締役 中村隆則氏  
 14:15～15:15 「個人情報保護法改正の内容と留意点」  
 英知法律事務所 弁護士 森亮二氏  
 15:15～15:30 休憩



15:30~16:30 「九州の情報通信について」

九州総合通信局電気通信事業課 課長 國井和裕氏

16:30~18:30 パネルディスカッション

16:30~17:00 「企業の相談から見る地域におけるITの  
インパクト」

アマビズ（天草市起業創業・中小企業支援センター）  
センター長 野間英樹氏 <http://ama-biz.jp/>

17:00~18:30 「地域経済を元気に！」

モデレータ：株式会社ネットフォレスト  
代表取締役 高橋佑至氏

パネラー：九州総合通信局電気通信事業課  
課長 國井和裕氏

アマビズセンター長 野間英樹氏

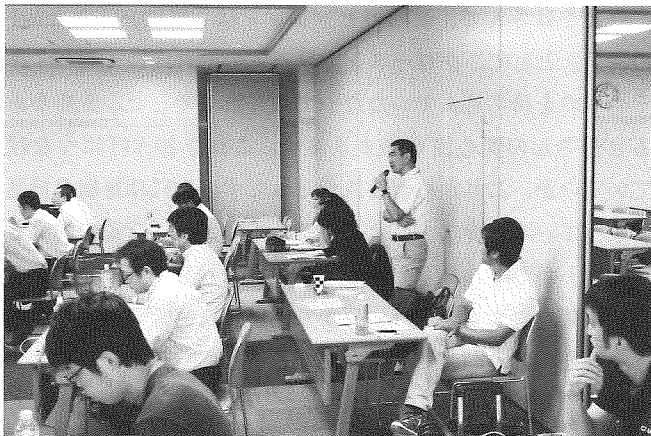
株式会社IMS 代表取締役 高木大輔氏

株式会社グッドコミュニケーションズ

田中知明氏

有限会社あまくさ藍ネット 大曲昭仁氏

19:00~21:00 懇親会 あまくさ村



## 概要：

今回の天草での開催は、様々な取り組みをしていたり、地域ISPの方が昔から頑張っているところなので、一度は何いたいと思っていたところでした。また、以前JAIPA会員会社にいらっちゃって天草に移住して活動をしている方もいらちゃったので、今回がよい機会ということもあり、開催の運びとなりました。開催前からプログラムや懇親会会場手配等、ご尽力いただいたあまくさ藍ネット 大曲様、アマビズセンター長 野間様には大変お世話になりました。そしてプログラム委員の皆様も、この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

さて、参加される皆様のご都合をお聞きしたらこの日程。となった今回ですが、ちょうど機材の入れ替えて研修中とい

うことで天草エアラインが運休している時期にあたってしまい、現地への交通手段が少なくなったこともあり、参加者の方々には残念な時期に開催となり、申し訳ございませんでした。7月開催の沖縄ICTフォーラムの直後ということも有り、出張申請も大変だったとか。とはいえ、開催2週間前に十数名の参加申し込みだったのが終わってみれば、71名だったので、ほっと胸をなでおろした感じです。参加いただいた皆様ありがとうございました。

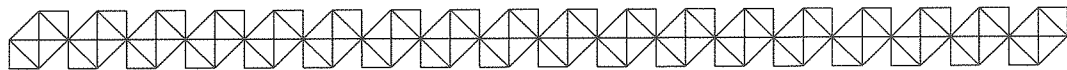
さて、1日目のプログラム前半は、地元からの情報発信として、(一社)天草宝島観光協会、天草エアライン株式会社にご講演いただきました。天草宝島観光協会は当初の予定では天草市の方と2名でのご講演でしたが、急遽ご都合がつかなく、古川様に現状と取り組みについてお話をいただきました。

「宝島」とつけた天草の魅力をご紹介いただきました。エリアによって有名なものがあるようですが、タコが好む貝が多くいる有明エリアには、タコがたくさん取れるそうです。タコ街道にはタコのオブジェもあるとか。また年間を通して約300頭のイルカが回遊している場所があり、イルカウォッチングには最適な場所だそうです。ぜひ様々な場所を見学して

いただきたいとのことでした。次に天草エアラインのCA 村上様と山口様に取り組みと現状をお話いただきました。平成10年10月、熊本県(53%)・天草2市1町(27%)民間(20%)出資の第三セクターとして設立され、平成12年3月23日、「九州の新しい翼」として天草⇄福岡間に3往復(35分)、天草⇄熊本間に1往復(20分)の運航を開始したそうです。使用機材はカナダ製39人乗り「ダッシュ8-103」、天草のマスコット「イルカ」がデザインされています。その1機を大事に運営しているようで、社長をはじめ皆さんで機材を洗っている現場写真も拝見しました。天草の住民の方々の方にもなっているようで、CAやパイロットの自己紹介も機内にあったり、乗客のお誕生日や記念日などもお祝いするようなアットホームな雰囲気もご紹介いただきました。現在「平成28年2月19日まで、新機材導入による乗員訓練の為、天草⇄熊本間、熊本⇄大阪(伊丹)間及び天草⇄福岡間の105便、106便を運休中でございます。ご不便をお掛けし申し訳ございません。(今後の機材更新準備の進捗状況によっては、変更の可能性があります。)」とWebに掲載している通り、福岡→天草間のみ運行しているとのこと。今回は乗ることができませんでしたが、いつかは乗ってみたいと思っております。皆様もぜひ搭乗してみてください。なにかいいことがありますよ、きっと。

地元紹介の後は、クラウド部会のセッションです。ソネット 宮内氏によるクラウド部会の取り組みを説明いただいた後、経済産業省 中氏によるデータセンターを利用したクラウド化支援、クラウド基盤ソフトウェア導入実証、省エ





ネ型データセンター構築実証といった、経済産業省の取り組みをお話いただきました。次にZOROKの鶴澤氏による、Cloud News Asia から見たアジアの動向として、現状を説明いただきました。休憩をはさんで、さくらインターネット田中氏をモデレータとしたパネルディスカッションです。パネラーは先にご講演いただいた、経済産業省 中氏、ZOROK 鶴澤氏に加え、クララオンライン 家本氏、フューチャースピリッツ 谷孝氏の5名で、現在のクラウドの状況、海外での活動について、特に家本氏、谷孝氏については海外での活動を活発に行っていることから、日本の状況と海外での取り組みの違いなどをお話いただきました。最近の集いでは、この田中氏モデレータによるクラウド部会のセッションを欠かさずプログラムに取り入れています。軽快な田中さんのモデレータでパネラーも会場の皆さんも笑いが絶えません。集いの「目玉」となっております。今後も続けていければと思っております。

19:00から「いけす やまもと」での懇親会です。天草ならではの海の幸が並び、講演を終えた講師の方々にはほっと一息、明日の登壇がある人は控え目に。1日目のお話を振り返りながらの懇親会でした。



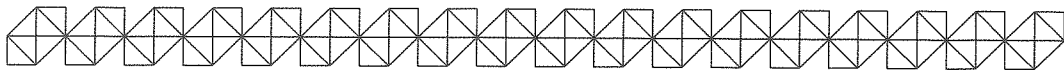
2日目は、前日の懇親会を引きずりながらの方もいらっしゃる中、だいぶ前から問題になっている光卸の話です。JAIPA 立石副会長、地域ISP部会 晋山部会長による対談によるご講演です。まずは晋山部会長から現状をお話いただきました。分かりにくい光卸について、ご自分が現在体験していることを交えての疑問点等も提起され、今後、何を考えていかなければならないかを皆さんに提示されたのではないかと思います。次に無線LAN関係を引き続き立石副会長が担当。公衆無線LANの先駆けとなった長崎の「にんじんネット」の藤澤社長にお越しいただき、公衆無線LANを開始したときと現在の様子、さらには、セキュリティ関係の話

も含め、現在問題視している件を対談方式で参加者にも分かり易くご説明いただきました。午前中の最後のセッションは、毎回ご参加いただいている、総務省電気通信紛争処理委員会事務局より、通信・放送事業者の問題解決をサポートとして、取り組みをご説明いただきました。気になっていることがあったら、ぜひご相談ください。

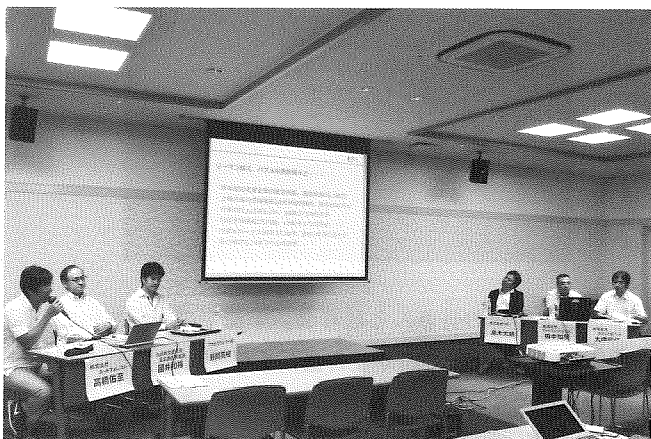


昼食をはさんで、最初のセッションは「電動バイクとIoTの開発」として、グロースドリームの中村氏に電動バイクそのものを持ち込んでいただいご講演でした。実物があると皆さんの関心度も高まります。これをどうITにつなげていくのか、これからの勝負だそうです。次には毎回お世話になっている森弁護士による「個人情報保護法改正の内容と留意点」として、最も日常の業務や個人としても知っておきたい情報をいつものように分かり易いご説明で、参加者を飽きさせない語り口でご講演いただきました。休憩をはさんで今度は地域ISP部会によるパネルディスカッションです。この休憩時には、先にご講演いただいた電動バイクの試乗に皆さん釘づけ。すこし休憩時間をオーバーしてしまいました。すみません。

さて、地域ISP部会が企画した、パネルディスカッションの前に「九州の情報通信について」とした九州総合通信局 國井課長によるご講演を伺いました。もちろんその話を受けて、パネルディスカッションにも参加していただきました。次に「地域経済を元気に！」のパネルディスカッションへのネタを含めた「企業の相談から見る地域におけるITのインパクト」として、東京から移住されたアマビズセンター長 野間氏からアマビズの活動、住民からの相談にどんなものがあり、どんなことが求められているのか等をお話いただきました。パネルディスカッションについては、九州（地元）の方々をパネラーに！と言うことで、九州総合通信局 國井氏、アマビズセンター長 野間氏に加え、株式会社IMS 高



木氏、株式会社グッドコミュニケーションズ 田中氏、有限会社あまくさ藍ネット 大曲氏の面々、モデレータは我らがネットフォレスト 高橋氏（ゴーゴー）です。高橋氏については、言わずもがな地域プロバイダー協会から、協会立ち上げに尽力、現在も常任理事、地域ISP部会の副部長をしていただいています。パネルディスカッションは、それぞれのパネラーのプレゼンをしていただき、1. 地域経済環境はどのように変化したか？、2. そのなかで地域系ISPを取り巻く環境は？、3. 地域振興・地域おこし・地方創生・地方なんでも！、4. 地域系ISPとしての存在意義、新たな事業分野は？と4つの項目に分けて会場を巻き込んで、皆さんの状況や思いを引き出していきました。なかなか「これ！」という答えを出すのは難しい問題ですが、パネラーと会場とのディスカッションも活発に出来てとてもよい地元セッションでした。



2日目も無事に終わり、「あまくさ村」で懇親会を行いました。今回も参加者の方々をはじめ皆さんのご協力の下、無事に終了いたしました。ありがとうございます。引き続き年2回程度「集い」を開催したいと思っておりますので、ご参加よろしく願いいたします。また、集いはこの場所で！とかこんな話を聞きたい！という方は、ぜひ事務局までご連絡ください。そしてプログラム委員にご参加いただければと思っております。なにとぞ、よろしくお願いいたします。(M)



## 子供達とインターネット

2015年11月初旬 青森県下北郡佐井村で村のPTA連合会によるインターネット、スマホに関する研修会が行われ、JAIPAが講師として参加させていただきました。



みなさん、地図で佐井村の場所を探してみてください、本州最北端大間町の南側に隣接する村です。人口2300人あまりの漁業が主な産業の村。

江戸時代は北前船の寄港地として商業が栄え、地元の山林から伐採した「ヒバ」を日本全国に送り出していたこともあり、景気の良い地域でもあったとのこと。

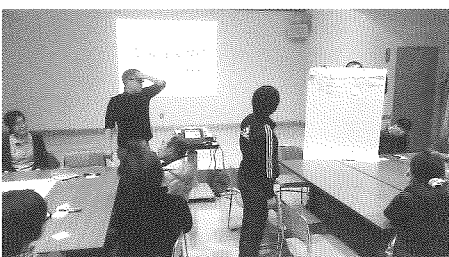
村の南には名勝「仏ヶ浦」があり、現在は年間20万人近い観光客が訪れる土地でもあります。

そんな佐井村から依頼を受け、当協会モバイル部会副会長安カ川氏に研修会の講師をお願いし、11月8日日曜日に研修会を開催させていただきました。

前日安カ川氏は鉄道を乗り継ぎ大湊線大湊駅まで移動。新青森から車で大湊駅まで移動し、合流。そして佐井村へ。ひたすら下北半島を北上すると佐井村に到着します。寒さは厳しかったですがまだ雪の季節前、本州最北端のニホンザルが道路にウロウロしていました。

午前中は小学生及び父兄と先生。午後は中学生と父兄及び先生と一緒に、インターネットに関して話をしたり聞いたり。有意義な一日でした。

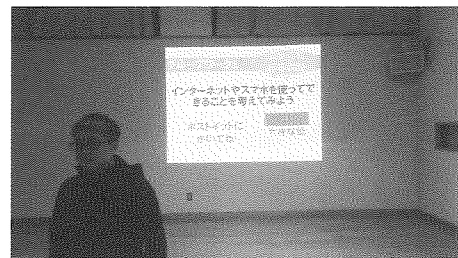
講師をするこちら側が、参加者よりも、有意義だった研修会でした。



小学生がインターネットで何をしているの？  
中学生は何をしているの？

様々なデータでは未成年者のインターネット利用が あだこうだと見聞きしていましたが、実際のところどうなのか？  
今回その一端を伺うことが出来ました。

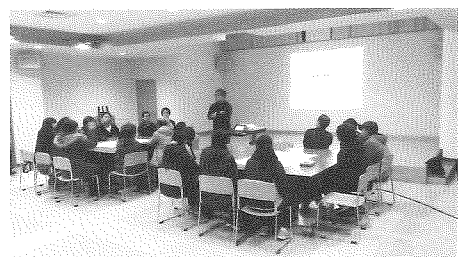
今回小学生の皆さんの話を聞いて興味深かったのは、参加した小学生全員がYouTubeを閲覧していることです。ああ、やはりそうなのだと妙に納得。もちろん小学生が見ているのは人気YouTuberのコンテンツ。はじめ社長が……ヒカキンが……なるほど、本当にそうなのだ。



午後は中学生の皆さんと研修会。午前中の小学生との違いが、「ネットで音楽を聴く」行動。小学生では皆無の行動でしたが、中学生はこちらが中心になっているようでした。

大都市圏と地方という違いはある程度あるのでしょうか、日本全国インターネットは小中学生の動画と音楽のインフラとして定着してきた時代だと実感しました。

電子書籍に関しては、今回利用しているという声を聞きませんでした。マンガや小説をスマホやタブレットで読むという行動は、もう少し年齢の高い層がメインなのではないでしょうか。ちなみにお母さん方はネットで買い物定番となっているようでした。お父さん達は……聞きませんでした。





下記 担当の西川教頭からの感想を頂戴しました。

佐井村連合PTA研修会事務局 佐井小学校 教頭 西川 正之  
☆朝夕めっきり寒くなった11月8日(日)、午前午後の1日  
日程で標記研修会が実施されました。

当日は、村内の他行事と日程が重なってしまい、参加者数  
は限られてしまいましたが、非常に実り多い研修会となりま  
した。

講師安力川さんからは、まずインターネットの仕組みにつ  
いてわかりやすく説明いただきました。携帯電話会社の基地  
局アンテナの話題から始まり、質問形式で児童・生徒に投げ  
かけたり、随時指名したりして進めていただいたので、小学  
校1年生も飽きることなくお話を聞くことができました。ま  
た亀田さんが随時的確なタイミングで補助的な質問を入れて  
くださり、わかりにくい部分も詳細にお話いただきました。

特に響いたのは、無自覚・無責任に画像等をアップロード  
することの危険性です。事例を詳細に紹介していただくこと  
により、小中学生ともにネットの功罪の罪の部分を見ることが  
できました。スマホ等の利用に身近な立場になってきた中学生に  
はとても説得力があり、ぜひ全生徒に聞かせたい内容だと感  
じました。

情報教育、メディアリテラシーの点で貴重な1日となりま  
した。ありがとうございました。

最後に

2015年 当協会常任理事古関義幸氏御尊父 同様に常任理事  
高橋佑至氏御尊父、年の瀬に事務局石川みどりの父上がお亡  
くなりになりました。

私事ですが自らの父も本年亡くなりました。

また当協会の前身、日本地域プロバイダー協議会発起人デ  
ジタルメディア研究所橋川幸夫所長の御尊父も2015年お亡く  
なりになりました。

謹んでお悔やみ申し上げます。

## 【報道資料】

### ■ 「電気通信サービスの広告表示に関する自主基準及びガイ ドライン」改訂の公表について

2015年11月11日に、通信関連団体で構成する電気通信サー  
ビス向上推進協議会において、「電気通信サービスの広告表  
示に関する自主基準及びガイドライン」改訂の公表について  
の報道発表を行いました。

改訂された自主基準及びガイドラインにつきましては、電  
気通信サービス向上推進協議会Webサイト (<http://www.tspc.jp/>) の「新着情報」からご確認ください。

### ■ 「プロバイダ責任制限法 発信者情報開示関係ガイドラ イン」の改訂について

2015年12月9日に、通信関連団体や著作権・商標権関連の  
団体等で構成するプロバイダ責任制限法ガイドライン等検討  
協議会において、「プロバイダ責任制限法 発信者情報開示関  
係ガイドライン」の改訂についての報道発表を行いました。

## 【補訂版での主な変更箇所】

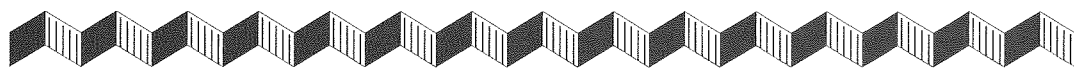
- ・ P.7 「(1) 電子掲示板・Webページ上の権利侵害情報に  
ついて」 b) からの文章に「ポート番号」について追加。
- ・ 書式①の表及び注記、書式②の表に「ポート番号」につ  
いて追加

## 【関係資料等】

- ・ 報道発表 (2015年12月9日)  
[http://www.telesa.or.jp/consortium/provider/20150727\\_press](http://www.telesa.or.jp/consortium/provider/20150727_press)
- ・ プロバイダ責任制限法 発信者情報開示関係ガイドライン  
[http://www.telesa.or.jp/ftp-content/consortium/provider/pdf/provider\\_hguideline\\_20151209.pdf](http://www.telesa.or.jp/ftp-content/consortium/provider/pdf/provider_hguideline_20151209.pdf)

## 〈参考〉

プロバイダ責任制限法関連情報Webサイト  
<http://www.isplaw.jp/>



## 株式会社タグバンガーズ

この度会員となりました、株式会社タグバンガーズ (<https://www.tagbangers.co.jp/>) と申します。

弊社は横浜を拠点に、クオリティにこだわる方、長く使えるシステムを所望する方に向けて、サービス・業務に最適なWebシステムをご提供するWebアプリケーション開発会社です。

特に、堅牢性・拡張性が必要なエンタープライズ向けの業務システムを得意としています。

Javaをメインとし、AWSを主とするパブリッククラウド環境をベースとして開発をしています。

私たちは「お客様が求めるクオリティ」をご提供しています。本当に必要なシステムの形とはどのようなものか、ヒアリングや各作業工程でのお打ち合わせを通し、一緒に追求していくプロセスを大切にしています。

さらに私たちはお客様が求めるクオリティを「超える体験」をしていただくための「アーティスト/技術者集団」でありたいと考えています。

創造することを強みとし、初めの要望では想定していなかった発見や感動、驚きをシステムを通してご提供していきたいと考えています。

インターネットがライフスタイルの一部になっている今、個々に合う使い勝手のいいシステムが必要になってきています。

時代の中で変化し続ける技術やニーズに柔軟に応えながら、こだわりぬいた「あいかわらずイイ」モノを作る会社になるべく、これからも作品をアウトプットし、表現していければと考えています。

今回の参加を通して、日本のインフラを支える会員の皆様と交流できることを大変楽しみにしております。

今後とも何卒よろしくお願いたします。



## 株式会社NTTドコモ

この度、日本インターネットプロバイダ協会に加盟致しました株式会社NTTドコモです。

当社は、東日本電信電話株式会社・西日本電信電話株式会社の光コラボレーションモデルを活用した「ドコモ光」とあわせ、インターネットプロバイダサービス「ドコモnet」の提供を開始し、2015年9月に本協会に加盟をさせていただきました。

当社は、「ドコモ光」の提供により、多様なインターネットサービスプロバイダ様と提携をさせていただき、新たな価値を創造していくとともに、「ドコモnet」においてもICT市場の更なる活性化に寄与できればと考えておりますので、今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。



### ■お問い合わせ先

株式会社NTTドコモ

〒100-6150 東京都千代田区永田町2丁目11番1号 山王パークタワー

電話 03-5156-1111 (代表)



## 三井物産セキュアディレクション株式会社

この度、JAIPAに新規加盟登録させて頂きました、三井物産セキュアディレクション株式会社でございます。

弊社は、サイバーリスクマネジメントのリーディングカンパニーとして、主業務である「セキュリティ診断」「セキュリティ監視」「セキュリティコンサルティング」を通じまして、お客様が安心・安全にIT活用を頂ける様、日々勤めております。

例えば「セキュリティ診断」事業においては、Webアプリ診断サービスを2001年に業界に先駆けて開始し年間20万画面を超える診断を実施しております。「ネットワーク診断」では年間7,500IPを超える実績を持ちます。

現在セキュリティ業界は、攻撃のゼロデイ化、APTなどを契機として、セキュリティ製品・サービスに大きな変化が求められています。この状況に対し弊社は、ビッグデータ解析ソフトを用いた、SIEM（統合ログ管理）の導入支援や、IPやURL等WorldWideから得られるThreat Intelligence（と呼ばれる脅威情報）の活用を業界に先駆けてCSIRTやSOCに向けてご提供、ご提案しています。

今後、グローバルセキュリティカンパニーが提供する脅威情報に加え、自社のコンサル業務で培いましたナレッジを活かしたセキュリティサービスの展開を実施して参ります。

これらのサービスを通じて通信事業者の方々に微力ながら貢献できればと考えております。

また、今年の7月より、当社専門家によるサイバーセキュリティ関連情報の発信を行うブログ「MBSD Blog」を開設しました。ぜひご活用下さい。

今回の参加を通して、会員の皆様方と意見交換できる事を楽しみにしております。何卒、今後とも宜しくお願い致します。

## ZOROK株式会社

このたび会員となりました、ZOROK株式会社と申します。弊社は、ブログなど用いた情報発信および、レポートの提供などを業務としています。一般向けに公開しているサイトとしては、Agile Cat (<http://agilecatcloud.com/>) というテック・ブログが有りますので、よろしければ、ご覧ください。その他にも、Cloud News Asia (<http://cloudnewsasia.com/>) という実験サイトも運用しています。前者は、海外のコンテンツを日本語で提供するもの、また、後者は、アジアの情報を英語で整理するものとなっています。どちらも、クラウドやIoTに関するテクノロジーを中心に、日本と世界のオーディエンスに情報を提供しています。なお、それぞれの連携するソーシャル・メディアとして、FacebookとTwitterを活用しています。

上記のサイトおよびソーシャルは、すべて無償で公開しているものですが、それらをベースにして、有償のレポートを作成し、月刊のサブスクリプション形式で提供しています。以下に、今年前半のレポート・タイトルを列挙いたします。いずれも、30~40ページ程度の分量となっています。

一概に、クラウドやIoTと言っても、その範囲は広く、また、すべてを網羅することは不可能です。したがって、なんらかの基準を用いて、海外から取得すべき情報を選別することになりますが、弊社が大切にするのは「未来を予測するための視点」です。誰しもが、情報を必要としますが、それは、自らの未来を有利に展開したいからなのです。

その観点において、日本のIT業界では普通とされる、米国だけにフォーカスする情報収集では、これからのアジアのスピードに付いていけないと考えています。弊社がアジアを重視するのも、この地域が抱える膨大な人口が、新たなスタイルのマーケットを作り出すことで、世界のITをリードしていくと確信しているからなのです。

このような観点から、微力ながら、コミュニティ活動にも取り組んでまいりますので、どうぞ、よろしくお願い致します。

# 行事一覧

## 10月

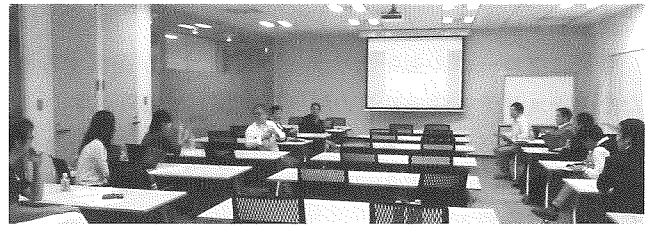
- 5日(月) 消費者問題対応ワーキンググループ
- 7日(水) 第44回クラウド部会
- 8日(木) 第100回インターネットユーザー部会
- 13日(火) 第142回行政法律部会
- 14日(水) 第75回女性部会(at.ソネット株式会社)
- 23日(金) 第10回モバイル部会
- 26日(月) 第140回地域ISP部会
- 27日(火) 第104回運営委員会  
(at.TKP渋谷カンファレンスセンター)
- 27日(火) 2015年度第4回理事会  
(at.TKP渋谷カンファレンスセンター)

## 12月

- 2日(水) 第46回クラウド部会
- 4日(金) 第11回モバイル部会
- 8日(火) 第144回行政法律部会
- 8日(火) 予算委員会
- 14日(月) 第142回地域ISP部会
- 15日(火) 第106回運営委員会
- 22日(火) 第102回インターネットユーザー部会

## 11月

- 4日(水) 第45回クラウド部会
- 9日(月) 消費者問題対応ワーキンググループ  
(at.NTTコミュニケーションズ株式会社)
- 10日(火) 第143回行政法律部会
- 11日(水) 第76回女性部会
- 17日(火) 第105回運営委員会
- 18日(水) 第141回地域ISP部会
- 18日(水) 第101回インターネットユーザー部会



(at.KDDI株式会社)

- 30日(月) 第76回女性部会(at.ソネット株式会社)

## 1月

- 6日(水) 第47回クラウド部会
- 12日(火) 第145回行政法律部会
- 15日(金) 第12回モバイル部会
- 26日(火) 第103回インターネットユーザー部会
- 27日(水) 第107回運営委員会
- 27日(水) 2016年JAIPA賀詞交歓会  
(at.都市センターホテル)
- 28日(木) 第143回地域ISP部会



11月30日 女性部会

## 役員一覧

<b>会長</b>		<b>理事</b>	
渡辺 武経	株式会社ディー・エヌ・エー	家本 賢太郎	株式会社クララオンライン
<b>副会長</b>		石田 卓也	株式会社イプリオ
菊池 正郎	ソネット株式会社	高橋 美博	株式会社グッドコミュニケーションズ
大井 貴	NTTコミュニケーションズ株式会社	田中 邦裕	さくらインターネット株式会社
西山 裕之	GMOインターネット株式会社	中野 雄一	株式会社エヌディエス
立石 聡明	有限会社マンダラネット	野口 尚志	EditNet株式会社
<b>専務理事</b>		横田 洋人	株式会社アットアイ
立石 聡明	有限会社マンダラネット	横山 正	株式会社インターリンク
<b>常任理事</b>		<b>監事</b>	
秋山 卓司	クロストラスト株式会社	新堀 龍明	株式会社サンライズシステムズ
片岡 浩一	KDDI株式会社	竹内 常夫	虹ネット株式会社
鎌倉 忍	ディーシーエヌ株式会社		
古関 義幸	ビッグロブ株式会社		
晋山 孝善	ジェットインターネット株式会社		
関野 浩也	群馬インターネット株式会社		
高橋 佑至	株式会社ネットフォレスト		
竹綱 洋記	ソフトバンク株式会社		
永田 勝美	株式会社NTTぶらら		
林 一司	ニフティ株式会社		

(2015年6月10日現在)

## 会員一覧

### ■正会員 [151団体]

株株式会社アイエフネット	射水ケーブルネットワーク株式会社	株式会社エンポリック
株式会社IMS	株式会社インターネット尾張	オーシャンブロードバンド株式会社
株式会社アイキューブ・マーケティング	インターネット・フューチャー株式会社	株式会社大塚商会
株式会社IC-NET	インターネットブ口東海株式会社	大槻電気通信株式会社
株式会社アイマネジメント	株式会社インターリンク	株式会社オキット
AXLBIT株式会社	WIXI株式会社	カゴヤ・ジャパン株式会社
アクロニス・ジャパン株式会社	有限会社ウイル	関越ネットワークシステム株式会社
株式会社朝日ネット	エクイニクス・ジャパン株式会社	特定非営利活動法人きたうら花ねっと
株式会社アットアイ	株式会社エスケブランナ	京セラコミュニケーションシステム株式会社
有限会社あまくさ藍ネット	株式会社STNet	近畿コンピュータサービス株式会社
アミック株式会社	株式会社エディオン	株式会社グッドコミュニケーションズ
株式会社有明ねっとこむ	EditNet株式会社	株式会社クララオンライン
アルテリア・ネットワークス株式会社	株式会社エヌディエス	株式会社グローバルネットコア
株式会社イーネット	NTTコミュニケーションズ株式会社	クロストラスト株式会社
イーブロードコミュニケーションズ株式会社	エヌ・ティ・ティ・スマートコネクト株式会社	株式会社クロノス
イエスネット株式会社	株式会社NTTドコモ	群馬インターネット株式会社
イツ・コミュニケーションズ株式会社	株式会社NTTPCコミュニケーションズ	株式会社KDDIウェブコミュニケーションズ
株式会社イプリオ	株式会社NTTぶらら	株式会社ケー・アイ・ピー

## 会員一覧

株式会社ケーシーエス  
KDDI株式会社  
ケーブルテレビ株式会社  
株式会社コアラ  
株式会社高知システムズ  
株式会社恒徳産業  
株式会社神戸コミュニティ・エクスチェンジ  
コスモメディア株式会社  
彩ネット株式会社  
サイバーエリアリサーチ株式会社  
さくらインターネット株式会社  
株式会社さくらケーシーエス  
サンコー事務機株式会社  
株式会社サンメディア  
株式会社サンライズシステムズ  
GMOインターネット株式会社  
GMOクラウド株式会社  
ジェットインターネット株式会社  
株式会社シグマライン  
株式会社スタジオマップ  
株式会社ゼクシス  
株式会社創風システム  
ソネット株式会社  
ソピアフォンス株式会社  
ソフトバンク株式会社  
ZOROK株式会社  
株式会社タグバンガーズ  
有限会社たけかわ企画  
ダンボネット・システムズ株式会社  
株式会社つなぐネットコミュニケーションズ  
株式会社ディー・エヌ・エー  
ディーシーエヌ株式会社  
株式会社TCP  
株式会社DMM.comラボ  
有限会社T-CNET  
株式会社電算  
電通工業株式会社  
株式会社TOKAIコミュニケーションズ  
株式会社トランスウエア  
株式会社トリトン  
有限会社ナインレイヤーズ  
那賀町ケーブルテレビ  
株式会社長野県協同電算  
那須インフォネット株式会社  
株式会社NAX  
株式会社新潟通信サービス

株式会社西新宿ドットネット  
虹ネット株式会社  
ニフティ株式会社  
日本・アルカディア・ネットワーク株式会社  
日本情報システム株式会社  
日本ネットワークイネイブラー株式会社  
日本マイクロソフト株式会社  
株式会社日本レジストリサービス  
株式会社ニューメディア徳島  
ネクストウェブ株式会社  
株式会社ねこじゃらし  
株式会社ネスク  
株式会社ネットアイアールディー  
株式会社ネットフォレスト  
株式会社ハイネット  
株式会社Hi-Bit  
バラレルス株式会社  
株式会社ハローコミュニケーションズ  
BBIX株式会社  
株式会社光システム設計  
BizMobile株式会社  
株式会社日立システムズ  
ビッグロブ株式会社  
株式会社ヒューメイア  
株式会社ファミリーネット・ジャパン  
株式会社フィックスポイント  
株式会社フォーサイトウェブ  
株式会社富士通システムズアプリケーション&サポート  
株式会社フューチャースピリッツ  
株式会社フューチャーネットワークス  
フリービット株式会社  
ブックスシステムデザイン株式会社  
有限会社プロベル  
株式会社北斗システムジャパン  
HOYAサービス株式会社  
株式会社ホワイトサポート  
株式会社マイメディア  
松本商工会議所  
有限会社マンダラネット  
三井物産セキュアディレクション株式会社  
ミテネインターネット株式会社  
株式会社ミライコミュニケーションネットワーク  
株式会社武蔵野  
メディアウェイブシステムズ株式会社  
ユニアデックス株式会社  
ライド株式会社

楽天コミュニケーションズ株式会社  
リコージャパン株式会社  
株式会社両毛インターネットデータセンター  
株式会社レキサス  
ワークアップ株式会社

### ■賛助会員 [6団体]

エプシロンインターナショナル  
国際大学グローバル・コミュニケーション・センター  
サイバーソリューションズ株式会社  
特定非営利活動法人日本テレマーケティング保護協会  
日本ネットワークセキュリティ協会  
一般社団法人モバイル・コンテンツ・フォーラム

(団体名五十音順) 2015年12月20日現在

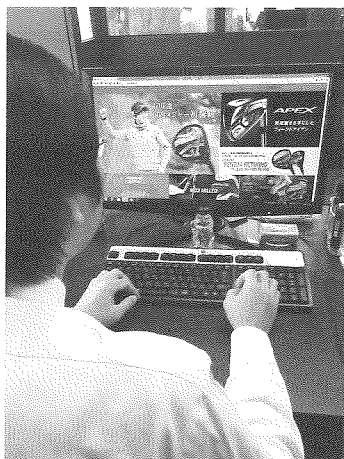
## People, people

こんにちは、ネットフォレストの松田と申します。

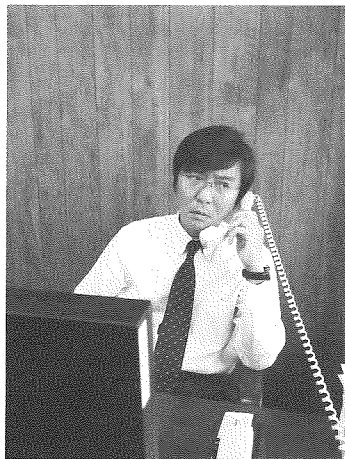
先日行われた女性部会主催のエグゼクティブトーク&クリスマスパーティに参加させていただいた際にひよんなことから本コーナーに執筆させていただくことになり、JAIPAでは「ゴーゴー」の呼び名である当社代表高橋の、普段皆様が目にしないであろう日常の一部を記事にしようと本人の了承も取らず、僭越ながらお引き受けしました。

ある日の、高橋の社内での様子を少しご紹介させていただきます。

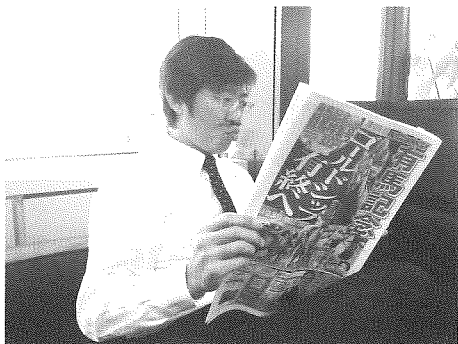
### ◆「ゴーゴーの日常」12月某日



出社後まずはメールチェック。

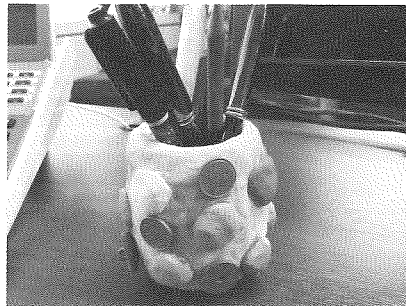


何やら真剣な表情で電話しています。

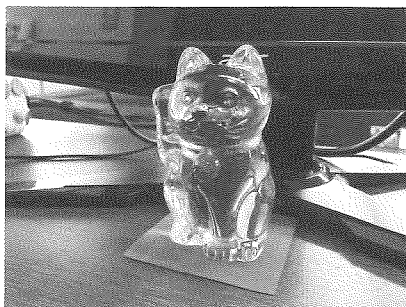


日経新聞は毎日欠かさず読みます。

〈社長室〉



・ペン立てはこどもの手作り。会社設立時からずっと使用しています。プライストレスですね。



・ディスプレイの下にはバカラの招き猫がいます。招き猫は右手を上げているのが金運、左手は人を招くそうですね。



・高橋が好きな言葉が飾ってます。サミュエル・ウルマン氏の「青春」の詩と茨木のり子氏の「自分の感受性ぐらい」の一部です。

以上です（笑）

### ◆おわりに

私はネットフォレストに入社して約14年になります。会社は間もなく17年目に突入するのですが、会社設立から数年間は高橋がほぼ一人で営業活動をしていましたのでこんな風に社内で新聞を読む時間もなく外を駆け回っていたと記憶しています。この数年の間に会社もずいぶん組織化でき、少しぐらいは落ち着いて過ごせる時間を持ってもらえてるのかなと、感じています。

今回は取り留めのない記事となり恐縮ですが、なんとなくクスッと笑っていただけていたら幸いです。

オフィスは横浜駅から数分にございます。お近くにいらっしやっただ際は、是非遊びにいらしてください。

株式会社ネットフォレスト 松田佳奈



# お知らせ

## 株式会社スタジオマップ 新代表取締役就任のお知らせ

この度、弊社におきましては、平成27年10月30日の株主総会において、及びその後の取締役会にて下記のとおり役員が選任され、それぞれ就任致しました。

弊社では、新体制のもと社員一丸となって社業の発展に努めて参る覚悟でございますので、何卒倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

### 記

代表取締役 須釜俊一（昇任）  
取締役システム担当 下村 朗（新任）  
（前代表取締役 岩崎富士雄は相談役に就任いたしました）

8月に突然、蕁麻疹が我が身体に勃発。  
太ももにポツポツと赤い湿疹が突然浮上しまして、蚊に刺されたかなあと思いつつ、掻きはじめてたら止まらない。気づいた時には、足全体が真っ赤に染まってしまっていたのである。  
Mさんは蕁麻疹じゃないかと言う。しかし、勃発したのは夏休み中。部屋にあるむかーしのビデオテープの処分に取り出して大掃除したので、ダニかもしれない、との疑念もぬぐいきれない。  
結局、皮膚科に駆け込んだの診断は、洗濯物について来た虫に刺されたのではないかと。飲み薬を頂き、ステロイドの入った塗り薬も出して頂き、の一週間の様子見となった夏休み明けの月曜日。  
が、一週間も経たないうちに、真っ赤の拡がりを見せ、とうとう腕にまで進出してきた為、金曜日、またも皮膚科に駆け込みました結果、ようやく蕁麻疹との診断を授かりました。っせーよ。  
しかし、蕁麻疹と診断されても、出された薬は同じもの。治んねーんだよ、と涙目。薬剤師さんには、内科にいけば注射とか打ってもらえるんだけどねー早く言ってよ、ちっ。  
でもね、そうね、最初に出されたお薬と同じものなのよ。治らずにひどくなったのに、出された薬は同じものなのよ。だからね、治るわけないのよ。  
翌週、今度は内科に行きました。注射、一発で治る注射。点滴かもしれないけど、でも、一日で治るそうだしね、苦手だけど、頑張るよ、私。  
ところが、まさかの薬切れ。あれもなし、これもなし。ええーどゆことー！！  
そして、出された薬はまたも同じもの。あ、ちょっと違うな、塗り薬はなんか他に調べて、処方箋として出てきたもの。効くかも？効くのか？効かなきゃ困るるうー  
えーと、この原稿を書いているのは12月。蕁麻疹？蕁麻疹は完治したのか？結局、今も湿疹に苦しんでおり、先週、血液検査をしたところ…  
とりあえず、超健康体！と、言われまして、これで心置きなくお酒も呑めます♪アレルギー反応もなく、優秀な身体、だそうですぞ、親方様！  
…え？ 湿疹は？ …ただの乾燥肌？ …謎なのです（T）

## JAIPA Express Vol.41

2016年1月29日 初版第1刷発行

発行所 一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会（JAIPA）  
〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町3-24 カコー桜丘ビル6F  
TEL:03-5456-2380 FAX:03-5456-2381  
URL:<http://www.jaipa.or.jp/> E-mail:[info@jaipa.or.jp](mailto:info@jaipa.or.jp)

印刷 フジサービス株式会社  
〒105-0014 東京都港区芝2-20-8



■本書の内容に関するご質問は、E-mailにてお問合せください。  
■本書掲載記事の無断掲載・放送は堅くお断りいたします。  
■乱丁、落丁本がございましたらお取り替えいたします。

©2016 Japan Internet Providers Association